

## Lektion 3

### 文法のポイント

#### ●名詞の性と定冠詞

英語では名詞の「性」はなくなりましたが、ドイツ語に限らず、ヨーロッパの多くの言語には「男性（中性）女性」などの性があります。ただしこれは、いろいろな名詞を同じ特徴のグループごとに箱に整理していったら、3つぐらいの箱に全部おさまったということで、男性・中性・女性というのは、人間以外の物事については全く必然性はありません。

名詞を覚える際には、たとえば der Bahnhof というように、定冠詞をつけて記憶するようにしましょう。

#### ●4 格（目的語になる格 「～を」）

「～を」というとき、英語でも he が him、I が me にかわりましたね。ドイツ語も同じで、「私を」とか「駅を」とかいうとき、若干形が変わることになります。英語の the や a はどんな使われかたをされても同じですが、ドイツ語では男性名詞だけが、「～を」という、英語でいう目的格、ドイツ語の 4 格になると、たとえば定冠詞の der は den にかかります。男性名詞の場合、4 格が変化するとおぼえておいてください。

### 表現のポイント

#### ●道案内と施設の名称

名詞については、とりあえずぼくたちが日常的に目にする物理的なものから始めます。第一回の今課は、街中や大学にあるいろいろな施設名です。

あわせて勉強したいのは、「道案内と方向などを伝える表現」です。要するに、右左、まっすぐ行って何本目の道を…これだけの言い方なのですが、日本人の外国語学習者は意外と苦手なものです。気楽に練習してみましよう。大学紹介なども、こんな気軽な流れで楽しくやってみてください。